

令和2年度第1回教育課程編成委員会 記録

委員：小川英彦(愛知教育大学教授 有識者委員)、
高田道雄(マハヤナ幼稚園長 保育科第二部企業等委員)、
水越省三(愛知県私立幼稚園連盟理事 業界団体委員)、
木下眞吾(名古屋芸術大学附属クリエ幼稚園長)、
武石協子(社会福祉法人NUAたきこ幼児園長 保育科企業等委員)
杉浦宏幸(校長)、坂部良二(副校長)、木村節治(保育科長)、加藤由美(教学主任)

開催形態

令和2年度第1回教育課程編成委員会については、当初6月12日(金)に開催の予定であったが、新型コロナウイルス感染防止の観点から、各委員に資料を送付し、意見を伺うという形態に変更して実施した。

送付資料

- ①令和2年度 教育理念・教育目標・求める学生像・めざす学生像・経営方針、等
- ②令和2年度 学生数状況
- ③令和元年度 就職状況
- ④教育課程 (別添学生便覧・講義要綱冊子)
- ⑤令和2年度 前期・後期時間割表
- ⑥令和2年度 年間行事計画
- ⑦令和2年度 教育・保育実習についての取組、実習期間
- ⑧令和元年度 教育実習Ⅰについて
- ⑨令和元年度 教育実習Ⅰを終えて学んだこと
- ⑩令和元年度 「保育・教職実践演習」小論文テーマ一覧
- ⑪自己評価、学校関係者評価について
- ⑫学生による授業評価について
- ⑬その他
 - ・新型コロナウイルス感染症に伴う令和2年度学事日程の変更等
 - ・令和元年度 各種奨学金受給状況一覧

1 校長あいさつ

紙面上にて、校長から外部委員への挨拶を行った。また、その中で、経営方針として、学生支援の重点として5項目及び重点努力目標としての5項目にしっかり取り組んでいくこと、また、隣接している滝子幼稚園、たきこ幼児園との連携を深め、両園でのプレ実習や園の先生による授業等を通して、即戦力となる幼稚園教諭・保育士の養成に努めていく旨の説明があった。

なお、挨拶の最後に、ここ数年の入学者数の減少により、令和2年4月1日から2年間、学生募集を停止するとの報告があった。

2 外部委員からの意見

- ・「めざす学生像」の中にある「配慮が必要な子ども」の部分は、「特別な配慮」という文言に変える。
- ・「教職員の重点努力目標」の中にある「文科省の変化に対応」の部分は、「文部科学省や厚生労働省等の動向に対応」とする。
- ・経営方針として掲げられた「両園の物的・人的環境を学生の実践力の育成に活かす」ことは大切なことであるので、新型コロナウイルスの感染拡大防止の対策を、保育専門学校と両園が連携して取り組みながら、できるだけ例年に近い形で安全に進めていけると良い。
- ・「社会貢献への取組」については自己評価・学校関係者評価とも「C」となっているが、現在の状況を踏まえると、本年度は地域と関わることはなかなか難しいと思う。
- ・本年度は新型コロナウイルスの影響でいろいろなところで変更を余儀なくされているが、臨時休校措置など、適切に対応されていると感じる。

6 今後の予定

- ・次回開催 令和2年10月9日（金）14：00～